

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書(代表質問)

番号	1	質問者	清風の絆 湊本 稔		平成28年3月4日
質 問 事 項			質 問 要 旨		答弁を 求める者
1 地方創生のエンジンをつくる			<p>(1) 若者定住のためには、市内既存企業の持続的発展が必要であり、市の支援が期待されている。今後朝来市で企業振興条例を制定し、総合的な支援をすべきだが、新年度において取り組むのか。</p> <p>(2) 観光を軸として市内の若者が起業できるよう支援すると同時に、島根県海士町のような生活支援のファンドや福祉施設等に就職・移住を呼びかけるシステムを新年度において創設するのか。</p> <p>(3) 動画による情報発信を強化すべきで、先進自治体のようにショートムービー大会を開催し、優れた作品を新年度においてネット上で公開していくべきではないか。</p> <p>(4) 利益を生み出していく経済・システムの確立が、地方創生のエンジンとなる。従来の発想にとらわれない新たな視点・施策が求められている。新年度において、新たな施策を創設するのか。</p>		市 長
タ イ ト ル		地 方 創 生 の エ ン ジ ン と な る 施 策 を			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
	(5) 地域おこし協力隊の任期満了後、しっかりと支援していくことが重要だ。新年度において、新たな施策を創設するのか。	
2 子育て支援の強化を	(1) 若者の定住・移住のためには子育て支援が大変重要である。とりわけ、保育料の更なる減額等によって経済的に厳しい若者世帯を支援すべきだが、新年度において取り組むのか。  (2) 子どもの6人に1人が貧困、一人親家庭の子は5割が貧困と言われる中で、経済的理由により進学を断念させることがあってはならない。子育て支援、若者の定住のためにも大学等奨学金・入学支度金制度が必要、新年度から制度を創設するのか。	市 長

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書(代表質問)

平成28年3月4日

番号	2	質問者	仁志会 波多野 優	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者
1				職員能力向上・意識改革について	(1) 長崎市が取り組んでいる「しごと改革」の以下の項目について尋ねる。 ① 市役所が変わらなければならないとする考え方 ② 仕事上、成果をあげられる市役所にしなければならないとしていること ③ 職務遂行能力を向上させ、職員の自信と成長を育む ④ 幹部から始める ⑤ 能力を高める機会の充実 ⑥ 職員一人1 チャレンジ ⑦ 職員提案制度の活性化 ⑧ 組織マネジメント力の向上 ⑨ 一丸となって目的・目標を達成する職場づくり ⑩ 改善が当たり前の職場風土づくり ⑪ やる気向上につながる適正な評価	市長
タイトル		自治体力の向上を目指して				

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
	<p>⑫ 職員の意識調査によって改善の成果を計る</p> <p>⑬ 庁内報を発行して頑張っている職員にスポットを当て記事を掲載する</p> <p>(2) 朝来市の取り組みについて尋ねる。</p> <p>① 常時、改善に取り組む体制づくり</p> <p>② 幹部職員が率先して意識改革を</p> <p>③ 長崎市の取り組みは成果を得ており、朝来市として大いに参考にすべきと考 える</p>	

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

番号	1	質問者	木村圭介	平成28年3月4日
質問事項		質問要旨		答弁を 求める者
1		ドライブレコーダーによる子どもの見守りはできないか		市長
		(1) 市の公用車、ごみ収集車などに装備できないか。台数は。 (2) 金額的にどれくらいか。 (3) 交通安全のための抑止力にならないか。		
2		朝来市の職員募集を東京でできないか		市長
		(1) U I J ターン、帰農、移住だけでなく、人材、就職としての職員募集を東京で行えないか。また、試験も、東京で行えないか。 (2) 今後の職員募集は。どのような人材を求めるのか。		
3		与布土ダム、四季彩湖は、いつ開放されるのか		市長
		(1) 2年前に完成しているが、いまだ立ち入ることができない。 (2) いつごろ自由に行けるのか。周辺整備の状況はどうなっているか。 (3) 交通安全対策はどのようになっているか。交差点対策はどうなっているか。 (県道檜倉山東線と溝黒竹田線)		
タイトル		ドライブレコーダーで見守りを		

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4 ゴールデン・スポーツイヤーが、地方を変える	(1) 2019 年ラグビーワールドカップ、2020 年にオリンピック・パラリンピック、2021 年にワールドマスターズゲームと 3 年間、スポーツの祭典が日本各地で行われる。ホストタウンを含めて、多くのことが考えられる。検討はされないか。	市 長
5 校庭の芝生化の推進の考えは	(1) 朝来市内の校庭の芝生化はなぜ進まないのか。現状はどうなっているのか。	教育長
6 英語教育について	(1) 朝来市内での文科省指定の英語教育も 2 年が過ぎたが、残りの 2 年が充実し、実りあるものとするには、どのように考えているか。	教育長

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	2	質問者	西本英輔		平成28年3月4日
質問事項				質問要旨	答弁を 求める者
1 県道檜倉山東線と県道溝黒竹田線の交差点とその周辺の整備について				<p>(1) 県道檜倉山東線と県道溝黒竹田線の交差点は事故が多発している。市として危険な交差点であると認識しておられるのか。</p> <p>(2) 交通事故が多発している原因の分析をされているのか。</p> <p>(3) 竹田・生野方面、また与布土ダムを目指すと和田山ICではなく山東ICを利用する観光客も増えると推測する。そうなると必然的にこの交差点の交通量が増えると思うが、どうお考えか。</p> <p>(4) 信号の設置が難しいのであれば、より交差点を認識させる告知表示等を行うべきではないか。</p> <p>(5) 交差点付近にはこども園があるが、交差点には横断歩道がコの字形に配置されており、子どもたちは1回の道路横断で園にたどり着くところを3回横断している。横断歩道を施設がある側に配置すべきではないか。</p> <p>(6) 交差点からよふど温泉向きの道路には歩道が整備されていない。グリーンベルトなどの設置はできないか。</p>	市長
タイトル		安心・安全な暮らしを			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
	(7) 観光を考えると、この交差点付近（よふど温泉周辺）に公衆トイレの設置を検討されてはどうか。	
2 各種相談ダイヤルについて	(1) 朝来市では「あさご健康医療電話相談 24」や「児童相談専用ダイヤル」、「朝来市DV相談専用ダイヤル」などの相談専用ダイヤルがいくつあるのか。 (2) それぞれの相談ダイヤルには、年間で何件の相談が寄せられているのか。 (3) 朝来市では身体障害者相談員・知的障害者相談員・精神障害者相談員が設置されているが、制度の仕組みを説明して頂きたい。 (4) 相談員には、年間で何件の相談が寄せられているのか。 (5) 相談専用ダイヤルや各種相談員の制度や電話番号は、どうやって広報されているのか。 (6) より多くの相談を受けるためには広報が必要だと考えるが、どうか。	市 長

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	3	質問者	小出 信篤		平成28年3月4日
質 問 事 項				質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 市民が期待する「地域包括ケアシステム」構築について				<p>(1) 朝来市では、平成27年3月に「第6期介護保険事業計画」を策定し、介護や療養が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく自立した生活を営むことができる地域社会の実現を目指し、「地域包括システム」の実現に向けて取り組んでいます。3年の事業計画の1年が経過したが、市長は、定められた中長期目標の進捗状況をどのように見ておられるかお伺いします。</p> <p>(2) 事業計画の基本理念にある、今後10年の高齢化の傾向、それに伴う要介護認定者の増加を考えれば、介護サービス利用者は今以上の増加を考えておく必要があると考えますが、市長は如何お考えですかお伺いします。</p> <p>(3) 特別養護老人ホーム、地域密着型サービス施設数は、利用者が増加傾向のなかで充足できているとお考えですか。また、職員数についてもお考えをお聞かせください。</p> <p>(4) 地域包括センターでは、毎月ケアマネジメント支援会議を開催されており、各々、介護施設事業所との連絡調整もその場で行われていると考えますが、具体的な開催状況をお聞かせください。</p>	市 長
タ イ ト ル		介 護 難 民 を な く す る 対 策 を			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
	<p>(5) 朝来市の介護サービス利用率は、平成 27 年 3 月末現在で 91.3%になっていますが、まだ、老老介護や自宅介護で頑張っておられる方もいると思います。長期的視野に立ち、高齢者の意識調査もするべきと考えますが、市長の所見をお伺いします。</p>	市 長
2 子どもたちの読書熱向上に読書通帳システムを導入してはどうか	<p>(1) 最近、いろいろな媒体を通じ子どもたちの読書離れが言われています。朝来市では、平成 26 年 4 月から「朝来市子どもの読書推進計画」を策定され取り組んでおられますが、朝来市の子どもたちの読書熱は高まってきているのか、教育長に見解を尋ねます。</p> <p>(2) 子どもたちの読書熱を高めるためには、もう少し、3つある図書館を活用してはと思いますが、教育長の所見をお伺いします。</p> <p>(3) 子どもたちや市民の読書熱を高めるために、読書通帳システムを導入してはとありますが、市長の所見をお伺いします。</p>	市 長 教育長

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	4	質問者	能見 勇 八 郎	平成28年3月7日
質 問 事 項		質 問 要 旨		答弁を 求める者
1	インバウンド観光について	(1) インバウンド観光にどのように取り組むか。 ① 外国からの観光客数、また、国籍などは把握しているか。 ② 今後の観光客数の動向をどう考えるか。 ③ 本市におけるインバウンド観光の形態をどう構築するか。	市 長	
2	観光資源の整備について	(1) 旧町ごとの観光資源について伺う。 (2) 資源の整備、育成をどのように図るか。	市 長	
3	今後の観光政策について	(1) 今後のどのような観光に取り組むか。 ① 国内外の友好関係にある都市との関係を利用する考えはないか。 ② どのような観光を中心とするのが妥当か。 ③ 施政方針に「朝来市版DMOの設立を目指した取り組みを進める」とあるが、 どのように進めるか。観光協会など民間との関係をどう考えるか。	市 長	
タ イ ト ル		観 光 政 策 ど う 取 り 組 む か		

### 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	5	質問者	嵯峨山 博	平成28年3月7日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1 定住促進について	<p>(1) 若者世代定住のための支援として 1.5 時間通勤圏内を生活圏域と捉え、新卒者の就業や通勤など支援を行うことは必要と考える。特に播但線の電化が必要であると考え、JRとの話し合いはどのような状況になっているのか。</p> <p>(2) 播但線寺前駅での乗り換えが必要であり利便性が悪く、本市から姫路への移動手段の魅力が低下していると考え。本市で育った子どもたちが例えば姫路で働くにしても車での移動がメインとなり、最悪、居住地を移動することも考えられる。通勤時間の短縮、利便性を高めることにより、本市から姫路方面への通勤者の利用や、姫路方面からの学生の受入れが可能となる。電化ではなく蓄電車両の導入をと考えるが。</p> <p>(3) 地域ぐるみで移住者の受入れを進めていく考えは評価するが、移住者が来られる事前の情報は、各支所、各区長へ伝える必要があると考える。現状はどのようなになっているか。</p>		市長		
タイトル	市民が満足する朝来市目指して				

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2 路線バス運行について	(4) (仮称)朝来医療センターの開設を契機に路線バスとアコバスの公共交通サービスの再編がなされ、便利で利用しやすい運行体系へと進められる。平日の運行は良いと思うが、土・日・祝祭日の運行が無い地域においては、特に長期休暇中は、買い物にも行けない状況である。このような方々への要望に応える必要があると考えるが。	市 長
3 防災体制について	<p>(1) 正規職員数の削減が行われているが、本庁・各支所の要員は確保されているのか。本庁、各支所間での偏りはないか。</p> <p>(2) 台風の予測可能な災害対応については、職員への事前周知、配置等により迅速な対応は実践されていると考える。しかし、地震等の予測不可能な災害において閉庁時における対応は想定されているか。</p> <p>(3) 例えば、夜間に震度5の地震が発生した場合、本庁・各支所対策部において何%の職員（最低人員）が出動した際に、各対策は機能すると考えているのか。</p> <p>(4) 地震により家屋倒壊等の被害が考えられるが、職員自身が被災することを想定しているのか。職員自身の家屋に損傷が無い場合でも、出勤経路の被災により本庁・支所への出勤が不可能な場合も想定されているのか。</p> <p>(5) 朝来市の人口は減少しているが、朝来市の面積は変わらない。その状況において、市道・上水道等のライフラインを復旧する職員数（技術者）は足りているのか。</p>	市 長

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	6	質問者	森 下 恒 夫	平成28年3月7日	
質 問 事 項			質 問 要 旨		答弁を 求める者
1	行政組織のあり方に問題はないか		(1) 年頭のあいさつで全職員に「前代未聞」という表現を使って厳しく叱責されたが、問題があったとするなら、その原因究明はなされたか。どんなところに問題があったか。また、再発防止策は。 (2) 今日まで様々な問題が発生しているが、職務を遂行する上での根本的なルール、手続が確立されているのか。また、それらは守られているか。 (3) 市長の方針、考え方、ビジョン、政策等の伝達方法は。組織の末端まできちんと伝わっているとお考えか。 (4) 竹田城課の新設、経済振興課の市長公室への移管等、本来の縦割り組織から逸脱した極めてイレギュラーで、ご都合主義的な組織編成が横行しているが、問題はないか。本来の組織に戻すべきと考えるがいかがか。		市 長
タ イ ト ル		組 織 改 革 を 断 行 し 組 織 力 の 強 化 を			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2 経済成長戦略の実績やいかに	<p>(1) 平成 26 年 3 月に策定してから今日までの実績は。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内総生産（全体） 平成 21 年度 106,434 百万円</li> <li>・ 市内総生産（製造業） 平成 21 年度 30,000 百万円</li> <li>・ 竹田城入込客数 平成 24 年度 237 千人 目標 350 千人</li> <li>・ 市内観光入込客数 平成 24 年度 1,024 千人 目標 1,330 千人</li> <li>・ 新規創業者数・企業数 平成 24 年度 0 人 目標 2 人／年</li> <li>・ 製造品出荷額 平成 24 年度 — 目標 29.5 億円／年</li> <li>・ マッチング数 平成 24 年度 — 目標 10 件</li> </ul> <p>(2) 生産年齢人口が 10 年で 2,500 人減少すると推計で示されているが、その実態と対策は。</p> <p>(3) 生産年齢人口の減少対策として、労働生産向上のための設備投資を促すとともに、厚生施設、研修施設等に関する支援を含め、どんな支援が可能か検討すべき。</p>	市 長

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	7	質問者	鈴木逸朗	平成28年3月7日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1	食文化まつりについて	(1) 自衛隊コーナーで子どもたちに迷彩服を着せての写真撮影は適切か。		市長 教育長	
2	奨学金制度について	(1) 「奨学金」という名の貧困ビジネスで追い詰められる若者への支援を。 ① 市内の奨学金返済者の実状は把握できているか。 ② 市としてできる支援策は。		市長 教育長	
3	介護保険制度について	(1) 介護保険制度の改定による市への影響は。 ① 介護報酬の改定は、市内介護施設事業者にどのような影響を与えているか。 ・通所施設事業者への実態把握は行われたのか。 ・デイサービスの事業所稼働率はどの程度か。 (2) 介護サービス利用者への影響は。 ・利用料の追加負担はないか。 (3) 新総合事業の準備はどのようにすすめられているか。 ・モデル事業はどのように行われるか。 ・「要支援外し」にならないための対応は。		市長	
タイトル		奨学金という名の貧困ビジネス？			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4 新システムによる市内の保育状況について	<p>(1) 入所児の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短時間と標準時間の認定で矛盾はないか。</li> <li>・ 保護者の勤務時間に対応できているか。</li> </ul> <p>(2) 職員の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確保はできているのか。</li> </ul> <p>(3) 保育料の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年度と比較して保護者負担はどうか。</li> <li>・ 新年度はどのように対応するのか。</li> </ul>	市 長 教 育 長

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

平成28年3月7日

番号	8	質問者	岡田 和之		
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1	公契約条例について		(1) 朝来市議会は、平成22年9月定例会において「公契約法」の制定及び公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書を国に提出しました。その後、公契約条例を制定する自治体が各地で現れ、本年1月7日現在で賃金下限設定を定めた公契約条例が18自治体で制定されています。県内では三木市、加西市、加東市が条例制定しています。 ① このような現状を踏まえ、改めて公契約条例に対する認識と評価をお尋ねします。 ② 条例制定の課題についてお尋ねします。		市長
2	障害者控除対象者の認定について		(1) 認定申請についての案内は、現状の周知方法で十分なのでしょうか。現状では、市広報等で説明されていますが、自分が該当するのか分かりにくい。市民にとって分かりやすい方法に改善が必要と考えますがいかがでしょうか。		市長
タイトル		公契約条例の制定について			

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	9	質問者	日下 茂		平成28年3月8日
質 問 事 項				質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 朝来市の活性化をどう図るか				(1) 活性化への発想をどう成育させるか。 (2) 観光事業の意識、情報を共有すべき。 (3) 観光対策、特産品対策は。 (4) 活性化のターゲットは福知山市、姫路市。 (5) 「住みたい田舎」。更に魅力を増すための政策は。	市 長
2 安全、安心対策				(1) 人口政策と防犯・交通安全対策は。 (2) 交通の要衝のまちとしての責任と対策は。 (3) 防犯協会、交通安全協会は必要か。	市 長
タイトル		活 性 化 の 発 想 を ど う 成 育 さ せ る か			

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	10	質問者	吉田俊平	平成28年3月8日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1	第2次総合計画の人口目標について		(1) 人口目標が達成できないことが明らかになった。市民に過ちを説明する責任がある と考えるが。 (2) 責任は誰にあるのか。 (3) 第2次総合計画の見直しが必要だが、どうするつもりか。		市長
2	不育症治療費助成事業の創設について		(1) 兵庫県が今年度から実施する不育症助成について、不育症治療費助成を行っている自治体に補助する考えのようだ。市も不育症治療費助成事業を創設すべきと考えるが、市長の率直な感想を伺う。		市長
3	産前・産後サポート事業について		(1) 私は妊婦の不安や負担を取り除くためにも必要な事業と考える。また、近隣の八鹿病院でも同様の取り組みを検討しているとも聞く。朝来市として前向きに実現方策を探る考えはないか。		市長
タイトル		不育症と妊婦の支援事業を創設せよ			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4 公共工事に係る循環率について	(1) 市内業者（元請、下請）の受注率を把握しているか。 (2) 今後も分離発注を進める考えはあるか。	市 長
5 老人の貧困について	(1) 今後にも必ず顕在化してくる。実態把握はできているのか。	市 長
6 コンビニ交付について	(1) マイナンバーも導入された。再々にわたり質問しているが、コンビニ交付をする考えはあるのか。	市 長
7 複合型多機能施設について	(1) 市の方針は決まったのか。今後のスケジュールも含め尋ねる。	市 長
8 GLOBAL G. A. P. について	(1) 朝来市でも取り組んでいく考えはないか。	市 長
9 辺地計画について	(1) 積極的に辺地計画を活用し、辺地の環境改善を行うべきと考えるが、そういった考えはないか。	市 長
10 情報公開について	(1) 予算書等、各種の資料を養父市は公開しているが、積極的に情報公開すべきと考えるが。	市 長

## 第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	11	質問者	丸尾行子	平成28年3月8日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1	マイナンバーについて		(1) 市においては、マイナンバー通知カードが手違いもなく送付が完了したのか。また、個人番号カードの申請状況は。 (2) 市民は勤務先からマイナンバーの提出を求められ、「迷っている」という人もある。市は職員のマイナンバー提出は終わったのか。また、市民に対して支払調書などでマイナンバー提出を求める必要性があると聞いている。提出されたマイナンバー書類がどのように保管されるのか。また、不必要となった場合はどのように処理されるのか尋ねます。		市長
2	(仮称)朝来医療センターについて		(1) 「便利で利用しやすい運行」を目指して5月のオープンに合わせ、公共交通の整備、アコバス路線が再編されますが、高齢化社会に配慮されているのか尋ねます。 (2) (仮称)朝来医療センターは、市民の切望であるMRIが未導入のままオープンとなってしまいます。市民がMRIを受診するときは、従来通り八鹿病院と連携し対応するようですが、八鹿病院との連携強化は図られているのか尋ねます。		市長
タイトル		マイナンバーと朝来医療センター			